

その他の症状として、動悸、呼吸がはやくなる、眠気、あくび、顔面蒼白、いつもと人柄が違ったような行動をとるなどがあります。重症の場合けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。低血糖は危険な状態ですから、起こらないように注意し、もし起こったら、軽いうちに治してしまわなければなりません。

### (2) 低血糖を予防するためには

- **薬の量や飲み方**: 主治医の指導を正しく守ってください。勝手に量や飲み方をかえるような自己流のやり方は危険です。
- **食事・運動など**: みだりに減らしたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。お酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢などは低血糖を起こしやすいので注意してください。食事がとれない場合は、主治医に連絡してその指示をうけてください。
- **他の薬を飲むとき**: 薬の中には、いっしょに飲むと低血糖を起こすものがあります。何か別の薬を飲むときには、主治医や薬剤師に相談してください。他の医師に何か薬を処方してもらうときには、すでにメトアナ配合錠を飲んでいることを申し出てください。

### (3) 低血糖が起こった場合の対応

- **軽い低血糖は糖分を食べると治る**: 普段から砂糖やブドウ糖を持ち歩き、いつでも、どこでもとれるように準備しておいてください。決してがまんしてはいけません。ただし、ミグリトール(商品名: セイブルなど)、アカルボース(商品名: グルコバイなど)、ボグリボース(商品名: ベイスンなど)を併用している場合には、砂糖は不適切です。これらの薬剤は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、**必ずブドウ糖**をとってください。

医療機関名

# メトアナ<sup>®</sup>配合錠LD

## を服用される患者さんへ

メトアナ配合錠は血糖を下げるお薬です。服用される前に、以下の注意をよく読んでください。

### メトアナ<sup>®</sup>配合錠LD

メトホルミン塩酸塩 250mg  
アナグリプチン 100mg  
(1錠あたり)



### メトアナ<sup>®</sup>配合錠HD

メトホルミン塩酸塩 500mg  
アナグリプチン 100mg  
(1錠あたり)



飲み方: 1回1錠 1日2回(朝と夕) 食事の前後どちらでもかまいません

### 低血糖について

**高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事しているときに低血糖を起こすと事故につながる可能性があります。特に注意してください。**

### 糖尿病で薬を飲んでいることを周囲に知らせておく

十分注意していても、場合によっては意識を失うような強い低血糖が突然起こる場合もありますから、自分は現在糖尿病で薬を飲んでいることをあらかじめ家族や周囲に知らせておく、またそのことを書いたカードを身につけておくなど、すぐに治療してもらえるようにしておくことが安全です。

## 1. メトアナ配合錠の服用方法について

- 飲み忘れたときは、気づいたときに1回分(1錠)を服用してください。ただし、次の服用時間が近い場合は、次の服用時間に1回分(1錠)を服用してください。**2回分を一度に服用しないでください。**
- 食事がとれないとき、体調が悪いとき、激しい運動を行うとき、検査や手術を受けるときなどは、服用を中止しなければならない場合があります。詳しい飲み方については、主治医の指導に従ってください。

## 2. メトアナ配合錠の服用中に気をつけていただきたいこと

### (1) 乳酸アシドーシス

次のような症状がひどいときまたは続くときは、飲むのをいったんやめ、すぐに医師にご連絡ください。

**吐き気・嘔吐、腹痛、下痢、倦怠感、筋肉痛、呼吸が苦しい**

### (2) 低血糖

次のような症状が起きることがあります。低血糖は軽いうちから糖分をとると治ります。すぐに砂糖やブドウ糖などをとってください。

**強い空腹感、力のめけた感じ、発汗、手足のふるえ、頭痛など**

## 3. 乳酸アシドーシスについて

### (1) 乳酸アシドーシスとは

血液中の乳酸が増えて、血液が酸性になった状態です。まれな副作用ですが、早期に発見して治療する必要があります。腎臓、心臓、肺や肝臓に病気がある人、アルコール多飲者、高齢者などで起きやすいとされています。

### (2) 乳酸アシドーシスを予防するためには

メトアナ配合錠をのんでいるときは、定期的に腎機能や肝機能の検査が行われます。腎臓に病気のある人、高齢の人では、検査の回数が多くなる場合があります。

腎臓、心臓、肺や肝臓に病気がある人、飲酒量が多い人、重度の感染症や外傷のある人、手術を受ける予定のある人、または受けただけの人、乳酸アシドーシスを起こしたことがある人は主治医に申し出てください。

- 脱水状態が疑われるとき、発熱や下痢、嘔吐などの胃腸症状があるとき、食欲がなく食事がとれないときは、念のため服用を中止し、主治医に相談してください。
- 脱水状態にならない様に、日頃から適度な水分摂取を心がけてください。
- お酒を飲みすぎないようにしてください。
- ヨード造影剤を使う検査をするときは、事前に主治医に申し出てください。
- 他の医師に何か薬を処方してもらうときには、すでにメトアナ配合錠を飲んでいることを申し出てください。

## 4. 低血糖について

### (1) 低血糖とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた危険な状態です。空腹時や、運動中や運動後、就寝前などに起こりやすく、主に以下のような症状が現れます。

